



通級による指導での「自立活動」について

通級による指導（以下「通級指導」）では、通常学級に在籍しながら、通級する児童生徒の日常生活の場である家庭、学校での適応を図るために「自立活動」を行います。週に1時間～最大8時間まで、別室で自分に合った学習活動を行います。「自立活動」とは、個々の児童生徒の障がいの状況等に応じた具体的な目標や内容を定め、学習活動を行います。

今回は、通級指導での「自立活動」について、通級指導の先生との連携についてレオ先生と一緒に、改めて確認していきましょう。

STEP R2.9.25号
 「いまさら聞けない…
 「通級指導って」
 は、嶺南教育事務所HP
 からバックナンバーにア
 クセスできます。



通級指導は、「自立活動」が必要な児童・生徒が対象で、障がい特性に応じた「自立活動」の指導を行う場でしたよね？

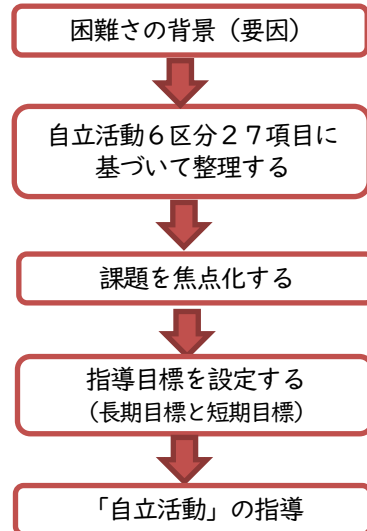
そうですね、レオ先生！学習が遅れている児童生徒を別室に取り出して教科補充をするのではなく、取り出しにより「自立活動」の指導を受けることで、**自信をもち、学んだことを通常学級での学習や生活に活かしていける子が対象**でしたよね。知的障がいの児童生徒は通級指導の対象ではありませんでした。

「自立活動」の内容は、特別支援学校の学習指導要領により6区分27項目になっています。

自立活動の内容						
区分	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
項目	<input type="checkbox"/> 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事	<input type="checkbox"/> 情緒の安定に関する事	<input type="checkbox"/> 他者とのかかわりの基礎に関する事	<input type="checkbox"/> 感覚の活用に関する事	<input type="checkbox"/> 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事	<input type="checkbox"/> コミュニケーションの基礎的能力に関する事
	<input type="checkbox"/> 病気の状態の理解と生活管理に関する事	<input type="checkbox"/> 状況の理解と変化への対応に関する事	<input type="checkbox"/> 他者の意図や感情の理解に関する事	<input type="checkbox"/> 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事	<input type="checkbox"/> 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事	<input type="checkbox"/> 言語の受容と表出に関する事
	<input type="checkbox"/> 身体各部の状態の理解と養護に関する事	<input type="checkbox"/> 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事	<input type="checkbox"/> 自己の理解と行動の調整に関する事	<input type="checkbox"/> 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事	<input type="checkbox"/> 日常生活に必要な基本動作に関する事	<input type="checkbox"/> 言語の形成と活用に関する事
	<input type="checkbox"/> 障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事		<input type="checkbox"/> 集団への参加の基礎に関する事	<input type="checkbox"/> 感覚を統合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事	<input type="checkbox"/> 身体の移動能力に関する事	<input type="checkbox"/> コミュニケーション手段の選択と活用に関する事
目	<input type="checkbox"/> 健康状態の維持・改善に関する事			<input type="checkbox"/> 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事	<input type="checkbox"/> 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事	<input type="checkbox"/> 状況に応じたコミュニケーションに関する事

文部科学省「特別支援学校学習指導要領・自立活動編」平成29年告示

本人にあった「自立活動」の指導を定める手順



6区分27項目に基づいて整理され、焦点化された課題から、長期的な立場に立った目標とともに当面の短期的な観点に立った目標を定めることが「自立活動」の指導の効果を高めるために必要ですね。

（通級による指導サポートブック 福井県特別支援教育センターHPの「福井県教育委員会の刊行物」コーナー）



なるほど、その子の困難さや障がい特性について、「自立活動」として、通級指導の先生に特別な指導をしてもらえるのですね！

課題を焦点化する時には、**児童生徒の興味・関心や得意なところ、長所**にも着目しておくと、「自立活動」の学習課題や教材の中に取り入れていけますね。



課題の焦点化ができれば、通常学級の担任の先生が中心になって個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成しましょう。



ええっ… 通級指導を受けている児童生徒の個別の教育支援計画・個別の指導計画は、通級指導の先生が中心になって作ってくださるのではないのですか？

福井県の様式① ふくいっ子版（通称：県版）

表面 個別の教育支援計画		裏面 個別の指導計画	
児童生徒の氏名	学年	児童生徒の氏名	学年
保護者の氏名	住所	児童生徒の性別	年齢
通級指導の先生	通級指導の時間	通級指導の場所	通級指導の曜日
個別の教育支援計画の目的	個別の教育支援計画の内容	個別の指導計画の目的	個別の指導計画の内容

A:十分に目標達成
B:ほぼ目標達成
C:もう少し頑張らねば
D:あまり成果が見られず
E:全く成果が見られず

保護者や通級指導の先生や特別支援コーディネーターの先生と連携・協力しながら、本人・保護者の立場に立って、通常学級の担任が作成します。
なお、通級による指導を受けている児童生徒は、「子育てファイルふくいっ子」県版の個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、活用することになっていますよ。



分かりました。通級指導の先生は、週に1回しかいらっしゃらないので、なかなかお話しする時間がもてていませんでした…。これまで、どちらかというと指導内容などに関しても連携できていなかったです…。

通級指導が、日常生活や学習の場で活かされるためには、児童生徒への指導とともに、通常学級の担任との連携がとても重要なのですよ。できるだけ時間を見つけて、口頭でも情報交換できるといいですね！また、通級指導を受けている児童生徒の感想も聞いておけるといいでしょう。



保護者との連携も大事になってきますね。夏休み前の懇談はもう終わってしまいました…。どうしたらいいのでしょうか…。

懇談の時などに通級指導の先生と一緒に入ってもらって、通級指導の内容や本人の様子・変容について、保護者と情報共有できると理想ですね。難しい場合は、書面で保護者にお渡し、お伝えする形でもいいですよ。保護者と情報共有して通級指導を進めていくことが大事ですね。
夏休みを利用して、通級指導の先生とこれまでの成果と課題の情報共有や、保護者との連携について話し合っておくと2学期（1学期後半）の通常学級の支援に活かれますね。



夏休み中に支援会議を開くことができないか、特別支援コーディネーターの先生に相談してみます。日頃から、通常学級での学習の様子など通級指導の先生と情報を共有していくように心がけたいと思います。

【参考文献】

特別支援学級をはじめ担任する先生のための自立活動授業づくり 菅原真弓・廣瀬由美子 明治図書
「通級による指導」における自立活動の実践 田中裕一【監修】 東洋館出版社

さらに学び続ける教師、
レオ先生におすすめの「R-cafe」がこちら！



第2回 R-cafe 8月9日(火) 14:00~15:00 (14:45~15:00 フリートーク)

テーマ「通級による指導に関するあれこれ ~ 指導内容、連携、悩みなど
8/8嶺南教育事務所研修講座「気になる子のサポート」についての内容

- * 第3回は、10月19日(水) 16:15~17:15 (17:00~17:15 フリートーク) テーマなど、詳細については、特別支援教育課発行の「STEP」に掲載します。
- * 気軽にどなたでも参加可能な Zoom によるオンライン座談会です。途中入室・退出 OK です。
- * 特学担任や特コの先生はもちろん、教務の先生、管理職の先生…たくさんの先生方のご参加をお待ちしています。